

Minami Kyushu University Syllabus

| Minami Kyushu University Syllabus | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|--|---------|---------|------|----------------|--------|------|------------|---|
| シラバス年度 | 2024年度 | 開講キャンパス | 宮崎キャンパス | 開設学科 | 管理栄養学科／食品開発科学科 | | | | |
| 科目名称 | 心理学 | | | | | | 授業形態 | 講義 | |
| 科目コード | 111210 | 単位数 | 2単位 | 配当学年 | 1 | 実務経験教員 | ○ | アクティブラーニング | |
| 担当教員名 | 松元 大地 | | | | | | | ICT活用 | ○ |
| 授業概要 | <p>本授業では、心理学の魅力とその幅広い応用を深く掘り下げ、私たちが日常生活や社会における複雑な人間行動と心理のメカニズムを理解するための基礎を学びます。具体的には、感情、認知、行動の心理学的理論をはじめ、人間関係の構築、ストレス管理、意思決定プロセスなど、現代社会における重要なテーマを取り上げます。授業を通じて、心理学がいかに関わりの内面だけでなく、人との関わり合いや社会全体に影響を与えるかを学びます。</p> <p>講師は公認心理師として心理支援業務に従事しています。講義内でストレスマネジメントの方法などについて触れたいと思います。</p> | | | | | | | | |
| 関連する科目 | 教育心理学 | | | | | | | | |
| 授業の進め方と方法 | 講義は毎回PowerPointを用いて行います。講義の最後にGoogleフォームから質問や感想を入力することができます。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第1回】 | 心理学の理論と方法 心理学の誕生、様々な学派、心の測定方法について学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第2回】 | 感覚と知覚 ものを感じる仕組み、視覚系の仕組み、形、奥行きと大きさ、運動と時間、音の知覚について学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第3回】 | 記憶と学習 感覚記憶・短期記憶・長期記憶の違いなど、様々な記憶と学習理論について学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第4回】 | 言語と思考 単語、文章の意味理解や様々な思考形式について学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第5回】 | 社会的認知 人の印象形成、対人判断に関する影響要因、予断がもたらすものなどについて学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第6回】 | 対人関係 対人魅力を決めるもの、自尊心と感情の関係、愛とは何かなどについて学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第7回】 | 集団と個人 他者の存在がもたらすもの、共同作業の心理、集団討議の功罪などについて学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第8回】 | 社会と人間 差別なき社会は実現可能か、人は人をどこまで信頼できるかなどについて学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第9回】 | 発達 赤ちゃんの能力、親と子の愛情、子どもの性格の違いなどについて学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第10回】 | 教育心理 科学的な概念の獲得、教師の指導の基本、学級での指導の基本などについて学びます。 | | | | | | | | |

| | |
|-----------------|--|
| 授業計画【第11回】 | 感情 基本的な感情とは、感情は知的な働きに関与する、感情の制御はどのように発達するかなどについて学びます。 |
| 授業計画【第12回】 | 動機づけ 生得的な欲求に基づく動機づけ、内発的動機づけの基本となる有能感、内発的動機づけと外発的動機づけなどについて学びます。 |
| 授業計画【第13回】 | 性格 類型論の考え方、特性論の考え方、ビッグ・ファイブとは、性格への遺伝の影響などについて学びます。 |
| 授業計画【第14回】 | 臨床心理学 臨床心理学の誕生、臨床心理の専門性、臨床心理の実践活動、心理アセスメントなどについて学びます。 |
| 授業計画【第15回】 | 臨床心理学 DSMによる分類、知的能力症、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症などについて学びます。 |
| 授業の到達目標 | この講義の到達目標は、心理学の基本的な理論や方法論を理解し、人間の感覚、知覚、記憶、学習、言語、思考、社会的認知、対人関係、集団行動、個人と社会の関係性、発達、教育心理、感情、動機づけ、性格、そして臨床心理学における主要な概念と理論についての広範な知識を習得することです。また、心理学の学問としての幅広い視野を持ち、心理学的な現象や問題を多角的に分析し、理解する能力を養うことも目指しています。さらに、学んだ理論や知識を日常生活や社会で遭遇する様々なシチュエーションに応用できる能力の基礎を築き、心理学が持つ実践的な価値を認識することも重要な目標です。 |
| 学位授与の方針(DP)との関連 | 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) |
| 授業時間外学習【予習】 | 指定したテキストを事前に読み、次回の講義内容を把握しておいてください(約1時間)。 |
| 授業時間外学習【復習】 | 講義で触れた該当箇所を再度読み、キーワードを確認しておいてください(約1時間)。 |
| 課題に対するフィードバック | 定期試験は試験後に解説します。 |
| 評価方法・基準 | 以下の項目に基づいて評価します。 定期試験：100点 |
| テキスト | 無藤隆, 森敏昭, 池上知子, & 福丸由佳. (2009). よくわかる心理学. |
| 参考書 | 講義内で関連のある書籍や論文を紹介することがあります。 |
| 備考 | |